

①開 会

<山 川 委 員>

それでは、ただいまから、令和6年山形県教育委員会7月定例会を開会いたします。

<山 川 委 員>

議事等に先立ち、申し上げます。  
先ほど、1名の傍聴の申出があり、これを許可しましたので、御了承願います。

②会議録署名委員の指名

<山 川 委 員>

会議録署名委員に、小関委員と工藤委員を指名いたします。

③会期の決定

<山 川 委 員>

会期は、本日一日としていかがですか。

<各 委 員>

異議なし。

<山 川 委 員>

御異議なしと認め、会期は本日一日に決定いたします。

④報 告

<山 川 委 員>

議事に先立ち、報告があります。  
(1)「県立高校県外生受入れ推進事業の進捗状況について」、高校教育課高校未来創造室長より報告願います。

<高校未来創造室長>

先月の定例教育委員会にて御報告した学校見学バスツアーを含む、県立高校への県外生受入れ推進に係る取組状況について御説明します。

まず、A4両面印刷のチラシを御覧ください。こちらは、学校見学バスツアーの参加者募集用に作成したものとなります。

事業概要を改めて説明しますと、県外生受入れを実施している県立高校や、本県の自然・文化・食を巡る1泊2日のバスツアーを、旅行代金を含む参加費無料、来県のための往復交通費の一部補助で実施するものです。

記載のとおり、7月末から8月上旬にかけて、置賜・最上・庄内の3コースを設け、県外生受入れ対象校のうち8校をそれぞれ見学いたします。

このチラシを活用し、旅行会社による営業活動のほか、山形県立高等学校ポータルサイトへの掲載、首都圏ほか全国メディアを対象としたプレスリリース、各都道府県教育委員会への通知など、多様なPRを行いました。その結果、7月23日時点で、3コース合計で20組40名から申込みを受けております。

各高校及び地元自治体等との連携のもと、満足度の高いツアーを実施

し、県立高校の志願者増加につなげてまいります。

次に、パンフレットを御覧ください。この度、県外生受入れ推進に係るパンフレットを新たに制作しましたので御紹介いたします。

県外の中学生及びその保護者が、本県の県立高校に興味を持ち、進学先として検討してもらおうきっかけとするため、本県の観光資源なども含む概要、県立高校の学びの特長、受入れ対象校の特色や魅力等をまとめ、効果的に情報発信するものとして作成しました。

県の総合的なパンフレットがあることで、県外生受入れが個々の学校の取組にとどまらず、県全体で推進し、学校・地域皆が県外生を歓迎し、応援する姿勢であることのアピールになると考えております。

本パンフレットは、県外生受入れ校及び地元自治体において志願者募集に活用するほか、県東京事務所など県外の関連施設、県外でのイベント等で配布します。また、県ホームページ、県立高校ポータルサイトにも今後掲載し、周知を図ってまいります。

以上、よろしく願いいたします。

<山 川 委 員>

ただいまの報告について、御質問等ございますでしょうか。

<小 関 委 員>

応募のあった20組は、どの地域からでしょうか。

<高校未来創造室長>

23日に締め切ったばかりですので、詳細をまだ確認していませんが、主に関東近辺、それと岩手県からも申込みを受けている状況でございます。

<山 川 委 員>

ほかになれば、これより議事に入ります。

## ⑤議 事

<山 川 委 員>

議第1号「令和7年度山形県立高等学校の入学者募集に係る臨時専決処理の承認について」、高校教育課長より説明願います。

<高校教育課長>

議1-1を御覧ください。

本案は、令和7年度に県立米沢工業高等学校と県立米沢商業高等学校の統合により新設される山形県立米沢鶴城高等学校専攻科の入学者募集について、教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任し又は専決させる規則第5条第1項の規定により、専決処理したことの承認について、お諮りするものです。

提案理由としまして、米沢鶴城高等学校新設に係る学校設置条例の改正は県議会6月定例会にて議決いただきましたが、本日の7月教育委員会への入学者募集の提案になりますと、十分な募集期間を得られず効果的な募集につながらないと判断し、専決処理をいたしました。このことについて規則第5条第2項の規定により、承認を求めるため、提案するものでございます

それでは、議1-2、1-3の資料1を御覧ください。

初めに、令和7年度山形県立米沢鶴城高等学校専攻科入学志願要項について報告します。募集するのは、クリエイティブエンジニア科です。

この入学志願要項には、推薦入学者選抜、一般入学者選抜、それぞれの志願資格、募集区域、対象学科及び募集人員、出願期間、提出書類、選抜及び合格者の発表等について記載しております。

前年度からの変更点は、校名の変更です。米沢工業高等学校から米沢鶴城高等学校に変更になります。

次に、議1-4、資料2を御覧ください。専攻科では、クリエイティブエンジニア科の入学定員10名について、デザインエンジニアコースとICTエンジニアコースの二つのコースを設定しております。

本専攻科は、地元からの強い要望もあり、平成15年度に設置しました。これまで100名を超える修了生が、実践的な専門技術を身に付け、地元企業等に就職し活躍しております。

以上、よろしく御協議のうえ、御承認くださいますようお願い申し上げます。

<山 川 委 員>           ただいまの説明について御意見、御質問ございますでしょうか。

<小 関 委 員>           専攻科の学科は、情報と何か二つあった気がするのですが、これが一つになってクリエイティブエンジニア科になるという意味ではないのでしょうか。

<高校教育課長>       以前は生産情報科の情報技術コースと生産システムコース、生産デザインコースとしており、これを令和6年度の募集からクリエイティブエンジニア科のICTエンジニアコースとデザインエンジニアコースとしております。

クリエイティブエンジニア科に二つのコースを設ける形で継続して教育してまいりたいということであります。

<山 川 委 員>           ほかになければ、原案のとおり承認してよろしいですか。

<各 委 員>           異議なし。

<山 川 委 員>           御異議なしと認め、議第1号は原案のとおり承認いたします。

<山 川 委 員>           次に、議第2号「山形県立高等学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定に係る臨時専決処理の承認について」、教職員課管理主幹より説明願います。

<管 理 主 幹>       「山形県立高等学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定に係る臨時専決処理の承認について」、提案申し上げます。

議2-1をお開きください。

米沢鶴城高等学校専攻科の入学者募集に当たり緊急を要したため、教

育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任し又は専決させる規則第5条第1項の規定により専決処理したので、同条第2項の規定により承認を求めるため提案するものです。

まずは改正理由ですが、令和6年度の県立高等学校再編整備計画に伴う学校再編を行うため規定の整備を図るものであります。

改正内容は、議2-1を御覧ください。

①としまして、米沢工業高等学校と米沢商業高等学校の統合により米沢鶴城高等学校を新設し、全日制として機械加工科40名、機械制御科40名、電気情報科40名、建築科40名、環境工学科40名、総合ビジネス科40名、会計情報科40名、定時制として総合学科40名、専攻科としてクリエイティブエンジニア科10名の募集といたします。

②としまして、鶴岡工業高等学校定時制を閉課程とします。

施行期日は、令和7年4月1日を予定しております。

なお、具体的な改正箇所につきましては、議2-3の新旧対照表のとおりでございます。

以上、よろしく御協議の上、御承認くださいますようお願い申し上げます。

<山 川 委 員>

ただいまの説明について御意見、御質問ございますでしょうか。

<小 関 委 員>

米沢工業高校から米沢鶴城高校になるに当たり、機械科が機械加工科に、生産デザイン科が機械制御科にと科の名前が少々変わっていますが、分かりやすいようで分かりにくい気がします。

機械加工はどちらかといえば製造するときの切削加工などを指して、機械制御は制御技術、メカトロニクスと言われる類なのかなという推測も成り立つのですが、分ける必要もあるでしょうか。

学ぶ子どもたちから見たときに、両方勉強したいという方がありそうな気がするのです。長井工業高校は機械科でどちらもやりますからね。一つの科にして80人の定員にするのでは問題なのでしょうか。

<高校教育課長>

現在も類を設けて括り募集をしておりますが、鶴城高校についても類ごとの括り募集を継続し、2年次から各学科を選ぶこととしております。

具体的には、機械加工科と機械制御科はそれぞれ1学級ですが、機械類という形で括り募集をいたします。電子情報科についてはそのまま電子情報類という形で1学級での募集です。建築科と環境工学科は、建設環境類という形で括り募集をさせていただきます。

商業科については2学級になりますが、総合ビジネス科と会計情報科を商業類という形で括り募集をしまして2年時から学科を選んでいく形になります。

<工 藤 委 員>

受検生やその保護者は、どの科に行けばどのようなことを学べるか、しっかりと把握できるのでしょうか。

- <管 理 主 幹> 夏休みに体験入学会がございまして、その中で詳しい説明や実際の体験に基づいた学習の内容について説明があります。  
あわせて学校でも、新しい高校ということもありパンフレットを準備し、学習内容について説明をしております。
- <工 藤 委 員> 鶴城高校になり工業系の電気情報科、商業系の会計情報科とありますが、情報系と言っても工業高校の情報と商業高校の情報とは全く違います。中学生や小学校高学年で、自分は将来の仕事で情報系に行きたいと言われても、どちらのジャンルなのか。入ってみたら自分が思っていたものと違うとなってしまうのは、すごくもったいない時間を過ごしてしまいます。  
体験会もちろんそうなのですが、いま中学校で進路指導される先生方に、ここに行くところというジャンルになるという情報がしっかりと降りていくことが大事なのかなと思います。  
個々の生徒、それから保護者の方が積極的にそういった情報を取れるようにしていくことも大事だと思うのですが、一番信頼して相談に当たるのが中学校の進路指導の先生方だと思いますので、明確に相談に乗れる体制が必要だなと思います。
- <管 理 主 幹> 新しい高校でもありますので、学校にも細やかに情報を伝えるようにお伝えをしてみたいと思います。
- <和 田 委 員> 現在の米沢工業高等学校と米沢商業高等学校に通学している生徒が一つになって、6クラスが5クラスになるという認識でお話を伺っているのですが、その場合、クラス編成の割り振りや教育課程が変わってくるわけではないのでしょうか。
- <管 理 主 幹> 入学時点でカリキュラムが決まっておりますので、いま米沢商業高校で勉強しているもの、米沢工業高校で勉強しているものについてはそのまま引き継いで、場所だけが変わるということで考えております。
- <和 田 委 員> 6クラスから5クラスになっても、弊害はないということですね。
- <管 理 主 幹> はい。3年間通して学ぶことは保証されております。
- <山 川 委 員> ほかになければ、原案のとおり承認してよろしいですか。
- <各 委 員> 異議なし。
- <山 川 委 員> 御異議なしと認め、議第2号は原案のとおり承認いたします。
- <山 川 委 員> 次の議第3号から議第6号までは人事に関する案件であることから、

これより秘密会としていかがですか。

<各 委 員>

異議なし。

<山 川 委 員>

御異議なしと認め、これより秘密会といたします。

《 議第3号から議第6号までは秘密会にて審議 》

⑥閉 会

<山 川 委 員>

以上を持ちまして、教育委員会を閉会いたします。